

令和6年度 学校教育目標等

学校教育目標

- 1 自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦できる実践力のある人間の育成。
- 2 個性を生かし、自己の才能や素質を最大限に発揮できる主体的な人間の育成。
- 3 豊かな心と健康な身体を持ち、生涯にわたって自己を高めつづける人間の育成。

スクール・ミッション

- 関連する科目のまとまりである「系列」及び幅広い選択科目の学習を通じて、自立して生きていくために必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- キャリア教育を通し、自己のキャリア形成により、自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択する生徒の育成

3つの方針（スクール・ポリシー）

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - 自ら課題を設定し解決するために、多角的視野と論理的思考力で主体的・対話的に探究し自らの進路を切り拓く能力を育成する。
 - 平和で豊かな社会生活構築のために、他者の多様な価値観を認め、互いに協働する能力を育成する。
 - 国際的視野に立って、地域社会と協働し社会貢献する能力を育成する。
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - 都市型・進学型総合学科として、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用し思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育に努める。
 - 道徳的実践力を高めるとともに、自他の生命を尊重する精神、自律の精神及び社会連帯の精神、責任を重んずる態度及び人権を尊重する態度を養うための教育に努める。
 - 「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」を通して、望ましい勤労観、職業観の育成を図り、キャリア教育の充実に努める。
- 3 入学者の受入に関する方針
 - 総合学科を志望する明確な理由を持ち、高校生活を意欲的に送ろうとする意思を持っていること。
 - 集団生活や特別活動を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けようとする意思を持っていること。

指導上の重点事項

重点目標	○授業改善を図り、生徒の主体的・協働的な学びを促進し、学ぶ意欲と学力向上を図る。 ○キャリア意識を高め、主体的に科目選択に努め、進路目標の達成と自己実現を図る。 ○規範意識を高めるとともに、いじめを許さない「命を大切にする心」の育成を図る。
学習指導	○基礎学力の定着と受験に対応した学力を育成するため、習熟度別クラス編成、授業シラバスや学習指導の工夫・改善に努める。 ○思考力・判断力・表現力を育成するため、「産社」「総学」を活用し、課題研究・学習成果発表の機会を充実するよう努める。 ○主体的な学習態度を育成するため、あらゆる学習機会を効果的に用いるとともに、模擬試験、資格取得、学校行事、部活動などの機能を活用することに努める。
生徒指導	○生徒指導の機能を高めるため、生徒一人ひとりの状況把握と情報共有を行い、共通認識の下で一貫した生徒指導に努める。 ○いじめを根絶するため、未然防止に向けた生徒主体の取組みを重視するとともに、自己有用感の育成に努める。 ○遵法精神の育成するため、時間厳守・挨拶・身だしなみを含めた公共マナーなどの基本的生活習慣の定着を図り、規範意識の醸成に努める。
進路指導	○キャリア意識を高めるため、大学の最新情報（カリキュラムの特色、学内奨学金制度、就職実績など）の収集と入学試験の傾向等についての情報提供に努める。 ○系統的な指導のため、年次や教科と連携を図り、模擬試験等を効果的に活用し、進学講習、公務員・就職講習の充実に努める。 ○望ましい職業観を育成するため、インターンシップ拡充と外部講師講演会など、高大連携を推進するとともに地域人材・資源の効果的活用にも努める。
健康・安全指導	○教育相談の機能を高めるため、SCや専門機関との連携を重視するとともに、特別支援委員会の活動の充実に努める。 ○危機管理意識を高めるため、臨場感のある避難訓練やリスクマネジメント・クライシスマネジメントの力量を高める校内研修の充実に努める。 ○命を大切にする心を育成するため、分掌、学年、教科、養護教諭が連携し、交通安全、薬物乱用防止、性に関する講演会等を計画的に実施する。